

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		15年度	14年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	17,828	17,712	116	0.6
消防費歳出総額(b)		1,047	1,050	△3	△0.2
(b) / (a)		5.8	5.9		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	17,548	17,439	109	0.6
消防費歳出総額(d)		863	860	3	0.3
(d) / (c)		4.9	4.9		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、最高は富浦町の11.0%であり、次いで白浜町の10.2%、酒々井町の8.7%となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成15年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、1世帯当たりの額の最高は、富浦町の157,185円であり、次いで栗源町の116,404円、白浜町の115,141円の順である。

一方、住民1人当たりの消防費を市町村別にみると、富浦町の51,815円を最高に、白浜町の43,616円、富山町の33,826円の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目・年度		11	12	13	14	15
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	41,003	47,306	41,330	39,714	39,735
住民1人あたり		13,888	17,674	18,327	17,611	17,650
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	34,618	34,739	39,366	38,587	38,905
住民1人あたり		11,725	13,424	14,707	14,416	14,550

(3) 経費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次の図のとおりであるが、消防費のうち人件費がかなり高い割合を占めており、全体に占める割合は 62.6%である。

平成15年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

